

平成27年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成27年9月24日）

協議会議事要点録				
会議名	平成27年度 第2回江田島市公共交通協議会			
日時	平成27年9月24日（木）14時～16時			
場所	江田島市役所 2階会議室			
傍聴者	3名			
出席者	県立広島大学	名誉教授	のほら けんいち 野原 建一	○
	広島商船高等専門学校	教授	おかやま まさと 岡山 正人	○
	江田島バス株式会社	代表取締役	はすだ つとむ 蓮田 勉	○
	江田島バス株式会社	従業員代表	すぎい くみお 杉井 公美雄	○
	広島県旅客船協会	会長	にった いちろう 仁田 一郎	○
	瀬戸内シーライン株式会社	船員代表	たにぐち みのる 谷口 実	○
	広島県タクシー協会江能支部	支部長	いまみや こうじ 今宮 浩二	○
	江田島市自治会連合会	会長	はまなか しげみ 濱中 繁美	○
	江田島市老人クラブ連合会	会長	ふるもと さねき 古本 眞機	○
	江田島市社会福祉協議会	会長	なかむら ひろまさ 中村 博政	○
	江田島市女性会連合会	会長	しもだ とよこ 下田 豊子	×
	江田島市観光協会	会長	いとう ふみお 伊藤 富美雄	○
	中国運輸局海事振興部旅客課	課長	ひらお よしひろ 平尾 嘉宏	代理出席 竹谷 浩
	中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	ひらが てつじ 平賀 哲二	代理出席 櫻井 康彬
	広島県地域政策局地域力創造課	課長	きむら ひろし 木村 洋	代理出席 藤田 順子
	江田島警察署	地域交通課長	こにし まさき 小西 正記	○
	江田島市	副市長	どて さんせい 土手 三生	○
江田島市	企画部長	しまづ しんじ 島津 慎二	×	
江田島市	土木建築部長	きむら なりひろ 木村 成弘	○	

1 開 会	
事務局	開会宣言
2 会長あいさつ	
会 長	会長あいさつ
3 議 題	
(1) 報告事項	
① 江田島市地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請について	
事務局	－資料1により説明－
議 長	ただいま、事務局から報告がありました。 本件について、ご質問及びご意見などはございませんか。
議 長	特にご意見はないようでございます。 平成28年度から平成30年度までの3か年における「おれんじ号」の運行については、認定申請のとおり行いたいと思います。 それでは、続きまして、「議題（2）協議事項」に入りたいと思います。「江田島市地域公共交通網形成計画の策定について」、事務局から説明をお願いします。
(2) 協議事項	
江田島市地域公共交通網形成計画の策定について	
事務局	－資料2により説明－ －江田島市地域公共交通網形成計画策定業務の受託者紹介－ ・一般財団法人 地域公共交通総合研究所 ・株式会社 バイタルリード
議 長	ただいま、事務局から報告がありました。 本件について、ご質問及びご意見などはございませんか。
議 長	最初の資料に書いてあるのは、契約金額が1千万円ということでしょうか。
事務局	はい。1千49万8千4百円というのが、税込みの契約金額です。
議 長	この契約の中身が、業務委託の内容ということで、この内容について調査を進めるということですね。
事務局	はい。基礎調査に基づく分析や、住民移動の実態ニーズを把握するための各種アンケート調査、こちらは4千8百世帯を対象にした市民アンケート、船舶利用者や予約型乗合タクシーおれんじ号の利用者を対象としたものを考えております。具体的な計画方針の検討なども入っております。また、協議会の運営支援もお願いしているところです。
議 長	はい、分かりました。そういったことを踏まえまして、ご意見やご質問があればお願いします。
委 員	何点かお伺いしたい。まず1点目、今回、アンケート調査票の見本が付いているんですが、市民、船舶利用者、予約型乗合タクシー利用者、主要観光施設の来訪者アンケート、それぞれ同じ調査票で実施されるのかどうかお聞きしたい。

平成27年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成27年9月24日）

事務局	そちらに付けておりますアンケート調査票につきましては、資料2の3頁にあります「①市民アンケート」に該当するものになります。その他、②航路利用者から④主要観光施設への来訪者アンケートにつきましては、現在、調整を進めております。10月中に実施する方向で準備をしております。
委員	市民アンケートの方は、すでに配布されたということなので、修正等の対応は難しいと思います。航路利用者アンケート以降につきましては、まだ要望があれば、反映していただける余地があると考えてよろしいでしょうか。
事務局	はい。まだ準備中ということで、そちらに書かせていただいております。ぜひ、ありましたらお願いします。
委員	それでは、こちらからの要望なんですが、市民アンケートの方の様式を見ると、基本的に陸上交通に特化した内容になっていて、フェリーの航路については利用頻度ぐらいで、希望する改善とか、こちらが一番の肝になると思うんですが、陸上交通とですね航路との連携策というのが、あまり記載されていないように思う。例えば、こういうサービスを導入したら利用が伸びるのではないかとか、そういう連携に関わる部分をアンケート等で意向を調査していただきたいと思います。
事務局	はい、ありがとうございます。公共交通網形成計画ということで、当然、陸上の話だけではなく、大切な航路の方もあります。市民アンケートの方は、もう発送しているわけですが、その他の部分で出来ることは進めていきたいと思えます。
議長	ただいまのように、まだ間に合うアンケートもありますので、「こういう風に変えていただきたい」というご意見がありましたら、ぜひともお願いします。 既に終わっているアンケートにつきましても、これからこういったアンケートをやる際には、「こういった部分を注意した方がいいのでは」というご意見もいただければと思います。
委員	先程、航路の話が出ましたので、アンケートについて、1点話をさせていただければと思います。アンケートの見本、「6-3 路線バスの改善点」という部分で、割合として「こういう風に改善したら利用したいと思う」というような、いわゆる今利用されていない方の掘り起こしに関する設問が設けられています。一方、航路の方につきましては、こういった設問がございませんので、航路の利用促進を図る上では、既存の利用者の利用回数を増やす、または、今、市外へ自動車で行かれています方を航路に持ってくるということに可能性がある訳でして、例えば、後者の方を引っ張るということであれば、「どのようにすれば航路が利用しやすくなるのか」といった設問がある方が、非常に掘り起こしにつながるのではないかと思います。今後、同様のアンケートを実施される際には、可能であれば、ヒアリング等を実施される際には航路の部分につきましても聞いていただくと非常にありがたいと思うところです。
事務局	ありがとうございます。このアンケートで足りない部分につきましては、色々出来ることを考えていきたいと思っております。
議長	アンケートは既に発送して終わっているのでしょうか。

平成27年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成27年9月24日）

事務局	資料2の3頁、「① 市民アンケート」については、先週18日に発送を終えております。ちょうど皆様のお手元に届いて、ご回答いただき返ってきている状況です。
議長	追加のアンケートというのは難しいですか。
事務局	一旦、今のアンケートで聞いてみまして、足りない所を考えていくことにしたいと思います。
議長	特に航路の部分が抜けているというのは、気になるので検討して欲しい。可能であるならば、追加で航路の部分を補っていただくということでお願いしたい。
事務局長	アンケートの航路部分につきましては、実際、法律等の縛りが厳しくて、調査項目として、どこまで記載出来るのかという点があり、こういう形になっています。今後、追加の調査を同じ方法で4千8百世帯を対象に実施するというのは、経費的には厳しい部分があると思いますので、その他の航路利用者アンケートとか、おれんじ号のアンケート、観光施設アンケートなどもございますし、自治会組織へのヒアリングもやろうかなと思っていますので、様々な機会を通じて、航路については聞いて行きたいと思っています。
議長	特にですね、高齢者の方のヒアリングをお願いしたい。というのは、彼らが一番よく利用されるので、フォローしていただきたい。 先程、受託事業者さんが調査を担当するということでしたが、どの部分を担当されることになりますか。
受託事業者	私どもの方では、アンケート調査一式の部分を担当することになっております。先程、市の事務局の方から説明がありました資料2の3頁の部分です。これ以外にも、前回の計画策定時に整理した情報、公共施設の配置や地理的情報などを現況のものにアップデートする作業を行いますが、主にアンケート調査の部分を担当します。
議長	市民アンケートは、基礎調査の部分に入るんですか。
受託事業者	そのようになっています。
議長	ということになると、「基礎調査」の部分と「住民移動の実態及びニーズの把握」の関係はどのようになるんですか。
事務局	すみません。「基礎調査」というのは現状の分析ということになります。「住民移動の実態及びニーズの把握」というのは、アンケートの部分になってきます。
議長	そうすると「基礎調査」というのは、「市民アンケート調査」の部分だけなんでしょうか。それとも、航路利用者アンケートなども含まれるんでしょうか。
事務局	「基礎調査」と「アンケート」とは、別のものだと考えてください。アンケートは、資料の中で「住民移動の実態及びニーズの把握」の部分です。「基礎調査」の部分は、これから説明していただくんですが、資料3の方で整理しておりますように、人口の推移や構成など、現状の調査や分析の部分を言っております。
議長	特に契約金額が1千万円を超えており、大変多額なものですから、どういう分布になっているのか、ちょっと知りたいところです。基礎調査の部分は、割合としては簡単に出来る部分ですから。既存の統計表を見れば分かるものですから。

事務局	<p>今回の業務委託では、資料2の1頁目「(5) 業務委託の内容」のところに記載しているとおり、基礎調査とアンケート調査だけが、委託の内容ではありません。「具体的な計画方針の検討」なども含んでおります。これまで地域公共交通総合連携計画という計画に基づいて取り組んできましたが、そちらの検証や公共交通の将来像の提示、計画の方針案及び連携体制、目標達成の評価方法などのお手伝いもしていただくことになっております。</p>
議長	<p>それでは、他にありましたらお願いします。</p>
委員	<p>アンケート調査について、重ねてのお願いになろうかと思いますが、市民アンケート以外のアンケートにつきましても、次回の協議会開催までに発送となっておりますので、今日がご意見ご要望出来る最後のチャンスになろうかと思えます。先程来のご意見にもありましたように、今現在、公共交通を利用されている方への調査というのが、資料2の3頁にある②、③、④の調査になる訳ですが、今、公共交通を利用されていない方が、どうして使われていないのか、そのところを把握したい。今、事務局の方がおっしゃったように、アンケートの形で拾っていくのか、自治会さんへのヒアリングで拾っていくのか、そういったところを事務局さんと業務を受託されている事業者さんとで、しっかりと打ち合わせをしていただきまして、「利用している方のこの部分を聞く」、「利用されていない方のこの部分を聞く」という仮説を持ちながら、最終的にアンケートの結果をどういった仮設なり、次への施策に反映させるのかといったところを見越して、アンケートの調査をやっていただければと思っております。観光施設につきましても、海上自衛隊第1術科学校、海辺の新鮮市場といったところに実際にいらっしゃっている方というのは、何かしらの方法でたどり着いている方であって、今の公共交通網だと来れないけれども、何か新しいまちづくりの形が出来た時に、「これはもしかしたら、増やして行けるのではないか」とか、どういった所があったら、公共交通なり、今、自家用車で来ている方は、公共交通にスイッチして、観光施設にいらっしゃっていただけるのかなといったところを、何かしら拾っていただけるような形を考えて欲しいと思っております。</p>
事務局長	<p>ありがとうございます。実際のところ、公共交通を利用していない方の理由は大体想像がつくというか、ダイヤとか便数とか料金とか。そういったところの折り合いが、自家用車を利用した時の方が、利便性が高いということだと思う。そういった中でも、もう一押しすれば、公共交通に乗っていただける方をどうやって取り込むかということ、アンケートやヒアリングを通じて拾いながら、計画の方を作っていくたい。</p>
委員	<p>たぶん、皆さんが心配されているのは、極端に言ってしまうと、「実態調査だけに留まってしまわないかな」ということを懸念されているんだと思えます。行政側がやるアンケートに、極端な施策を匂わせるようなことをすると、誤解を招くという心配もあろうかと思いますが、少し一歩踏み込んでですね、同じこと、同じ実態調査を繰り返しやるだけではなく、一歩踏み込んだ形で、こういう施策を、施策というところまではいかないまでも、バスを利用する人が増えそうだということを具体的に挙げていながら、「ひょっとすると効果がありそう</p>

平成27年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成27年9月24日）

<p>委員 (つづき)</p>	<p>だ」とか、「効果がなさそうだ」とか、「効果は大きいけど、市民からの反発が多そうだ」とか、そういったところを掴む調査を航路を含めてやって欲しいというのが、先程出された意見だとお聴きしました。なかなか行政側としては、そういった部分を含めていくというのは、先程来おっしゃられている行政の皆さんも、自分のことになると「ちょっと待て」ということになるかも知れませんが、その辺をヒアリングとかアンケートで出せばなあと思います。そういったものをどこかでご議論なりして、「具体的に取り込む」、「こういったものを取り込んでいきたい」、「こういったものをやると、これ位効果がありそうだ」、「効果がなさそうだ」といったことを言えるようなものをご検討いただきたいなと聞き及びました。実は私も大崎上島町の方で、アンケートをやろうということで、こういう大きなアンケートというのは、そんなに出来ないと思うんですよ。お金のこともそうですし、住民負担のこともそうですし。先程も言いましたけれども、変な言葉や施策を入れると大きな影響がありますので、なかなか難しいとは思いますが、せっかくやるのであればですね、もう少し練っていただいて、やっていただくのがいいのではないかと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>事務局の方からコメントがありますか。</p>
<p>事務局長</p>	<p>ありがとうございます。今回、アンケートを取ってですね、実際に「こんな施策を考えているんですけど」というところを匂わせることが出来ればいいんですが、最終的には交通事業者さんと話をして「これで行ける」というものがなければ、なかなか難しい面もありますので、たちまち全体を聞いてみて、考えられる施策を事業者さんと話をしてみて、それで住民さんがどのように思うのかということを探っていくという手順にどうしてもなると思います。今回、こういった形で計画を最終的に作ったとしても、それから具体的に取組んでいく際にバージョンを上げていくなりして、公共交通を使っている人、使っていない人の意見も聞きながら、どんどん変えていけると思っています。また、そういった目で協議会の方でも、色々とお諮りしていきますので、その際にはご意見をいただければと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。せっかくやる調査でございますので、実りある成果が得られますように。そして、住民の方々の意見が、十分聞き取れるような、汲み取れるような、政策に反映出来るようなものであることを期待しております。</p>
<p>議長</p>	<p>他に何かありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>今のご意見の継ぎ足しになるような意見で申し訳ないんですが、自治会を実際にやっておった経験から、住民が公共交通の仕組みというのを本当に分かっておりません。年寄りはずいぶん、「呉市には循環バスがあるのに江田島には出来ないのか」と聞かれる。実際に術科学校の前から市役所まで乗ってみますと、大柿経由で回って行きますと540円かかります。湾内を内回りで行きますと230円かかります。このように料金に差があります。乗ろうとしても本数が非常に少ない。安く行こうとしても、大柿を経由すると往復で1千円以上かかるんですね。そういうお金がかかるバスの仕組みで、呉は循環バスでぐるっと回っても、同一</p>

平成27年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成27年9月24日）

委員 (つづき)	<p>料金ということであります。「循環バスが出来ないのか」という指摘はよく受けます。今、委員が言われたように、そういう理解していない人に対してアンケートをしても、施策は出てこないと思うんです。だから、循環バスが非常にいいと思いつつ、「よく分からないから、こんなの出しても仕方がない」となる。こんなことを言うと申し訳ないけれど、住民にはあきらめ的な気持ちがあります。それから、市役所が大柿に移りますよね。そうしますと、「このままの路線バスでやるのか」ということと、「市役所が移れば、人の流れも変わってくるのではないか」ということも住民は思っているんですが、なかなかそういったことがすぐにアンケートに反映出来るかどうか。私が言いたいのは、「アンケートをすれば住民の意見はすぐに分かるんだ」というものではないということ。ここら辺りへの配慮もお願いしたいと思います。</p>
議長	<p>分かりました。事務局の方でご指摘いただいた内容について、十分に汲み取っていただきまして、成果のあるものになるようにお願いします。</p> <p>他に何かありますでしょうか。それでは、皆さん方のご意見を賜りましたので、皆様方のご了解を得たものとして進めさせていただきます。</p> <p>それでは、資料3の説明に入ります。</p>
受託事業者	<p>－資料3により説明－</p>
事務局	<p>質問等があるかと思いますが、次のご講演をいただいた後にお受けしたいと思っております。</p>
<p>(3) 講演・意見交換 「地域公共交通網形成計画の策定に向けて」 ＜講師＞一般財団法人 地域公共交通総合研究所 アドバイザリー・ボード（委員） 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任教授 土井 勉 氏</p>	
講師	<p>－資料「江田島市の現況とまちづくりの方向性、公共交通の問題点等について」により講演－</p>
議長	<p>土井先生ありがとうございました。委員の皆さんと意見交換が出来ればと考えておりますので、ご意見等がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>講演内容とは関係ないのですが、海上交通のダイヤについて質問させて欲しい。9月14日から、小用／宇品間の高速船のダイヤ改正が行われている。第1便は、小用→切串→宇品の順に運航するが、そのダイヤが土曜、日曜、祝日は休みになっている。それで、市民の人の便利が悪いので、休日にも走って欲しいということで、現在、署名運動をされている。その状況がどのようになっているか、分かっている範囲で教えて欲しい。</p>
事務局長	<p>今、お話のあった署名活動が行われているということは聞いております。実際の現物は、こちらの方に届いておりません。「近々、持って行く」という連絡を、今朝受けたところです。それを受け取った後に、どういうことが出来るのか、出来ないのかということを考えていこうと思っています。現状としては、手元に届いていないということです。</p>
議長	<p>他にいかがでしょうか。</p>

委員	<p>もう少しお話を聞きたかったんですが、「負のスパイラルからの脱却＝利用促進」というところは、バスなど一般の旅客事業に該当することだと思ふ。利用促進について、もう少し詳しく説明をお願いしたい。</p>
講師	<p>利用促進をする上で、先程、6つのサービスがあると言いました。この6つのサービスがベースで大事です。「路線・系統」、「ダイヤ」、「運賃制度」、「車両」、もちろん「バス停」も大切です。鉄道の場合は「鉄道の駅」になります。あと、乗換の仕組みですね。タクシー事業者さんも含めて、よりスムーズな乗換が出来るようにしておかなければなりません。それから十分に話が出来ませんでした、「情報提供」というのがとても大事で、江田島市さんの方は、とてもホームページが充実しています。よく作っていると思います。ただ、一般の人は、ホームページまでなかなかとり着かないと思います。色々な情報提供の方法がありますが、十勝バス、北海道の例ですが、こういう方法がいいかもしれない。これは、十勝バスのダイヤと路線図なんですけど、通院あるいはお買い物に行く時に、「あなたの団地はこの辺にあるんですけども、お店まで行くには、こういう風にバスに乗ってください」というものが、ダイヤと一緒に掲載されています。自分たちの公共交通の目的に合わせた情報提供をしていくことが大事で、さらに時間、病院なら診療時間ですよ、「受付の時間にちゃんと間に合います。そのためには、このバスに乗りましょう」というようなことまで、どこまで細かくやっていくかは別にしても、一人ひとりの交通要望に合わせたような情報の提供の仕方をするのが大事です。これを作っただけではなくて、沿線にお住まいの方に手渡ししていく。バスの社員の人たちが各戸配布されている。それを見て利用者が増えてくる。新聞の折り込みとか、広報紙に出してもですね、多くの方は自分に関心のあるデータは見るとも、車をよく使っている人は「そんな関係ないわ」となっていくということですね。見もしない。見てもらえるように、手間暇かけないといけません。公共交通の事業者さんは、住民のところへ入って行くことをやりたがらない。何故かと言うと、クレームばかり受けてきたから。クレームは確かにある。バス事業者の人も、タクシー事業者の人も、なかなか住民の中には入りたがらないんですが、一緒に輪の中に入ったり、直接話をしてみると、クレームもあるけれども、相手の方も「そうか、こんなバスの使い方があるんだ」とか、逆に情報提供することが出来て、信頼関係が出来ていくということですね。直接話をすることや、情報ツールを使っていくことは非常に重要です。負のスパイラルを変えていく大きな原動力になる可能性があります。やったら出来るということではなくて、色々な可能性を追求して、どれがこの地域にフィットするものかを見つけていくことが大事です。それから公共交通の利用者が少ないですが、ゼロではない。何人かの方は利用されている。利用している方の外側に、利用する可能性はあるが、使っていない人たちがいる。もう一つ外側には全然関心のない方がいる。この輪をちよつとずつ広げていく。いきなり色々な人にアプローチすることも大切かもしれませんが、出来るだけ利用する可能性のある人に対して、呼びかけを働きかける。そうすると、この輪が広がっていきますね。この輪が広がっていくと、脳では「全然関係ない」と思っている人も、もしかすると、ちよつとでも利用する人に転換していく可能性がある。先程も京都の事例をお</p>

平成27年度 第2回江田島市公共交通協議会（平成27年9月24日）

講師 (つづき)	話ししましたけれども、輪が広がっていった結果、実際に利用者が増えている。
委員	分かりました。どうもありがとうございました。
議長	それでは時間が来たようです。短い時間でしたが、先生ありがとうございました。
4 その他	
議長	その他、皆様方の方から、何かありますでしょうか。 それでは、長時間にわたってご意見をいただきありがとうございました。 これにて、本日の会議は終了します。
5 閉会	